

第51回　「MCP: Advanced Topics」
Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

状態の持ち方

公式の教材を、順番に

原石工房
隠れた才能に気づき、花開く

この資料について

原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）MCP: Advanced Topics ／ State and the StreamableHTTP transport

改訂で、やりとりの通し番号は無くなりました

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/state-and-the-streamablehttp-transport ／ 非公式の日 本

全51回の、今日はここ

原石工房

Claude Code 101 — 第1回〜第12回

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Claude Code in Action — 第13回〜第21回

13 14 15 16 17 18 19 20 21

スキル — 第22回〜第27回

22 23 24 25 26 27

手分け（subagents） — 第28回〜第31回

28 29 30 31

MCP 入門 — 第32回〜第40回

32 33 34 35 36 37 38 39 40

MCP 応用 — 第41回〜第51回

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 **51**

今日はここ　第51回

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/state-and-the-streamablehttp-transport ／ 非公式の日本

今日のレッスン

原石工房

MCP: Advanced Topics の第11回

原題　State and the StreamableHTTP transport

訳　状態の持ち方

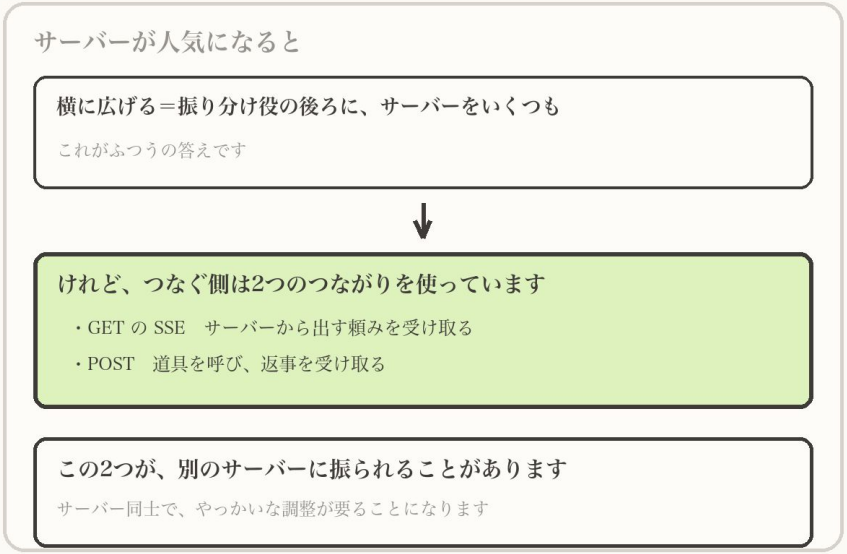
11回の話が、ここで実際の困りごとに着地します

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/state-and-the-streamablehttp-transport ／ 非公式の日本

① サーバーが人気になると、困ります

原石工房

原題 When You Need Stateless HTTP



前回の「2本立て」が、ここで重荷になる

横に広げる＝振り分け役の後ろに、サーバーをいくつも

けれど、つなぐ側は2つのつながりを使っています

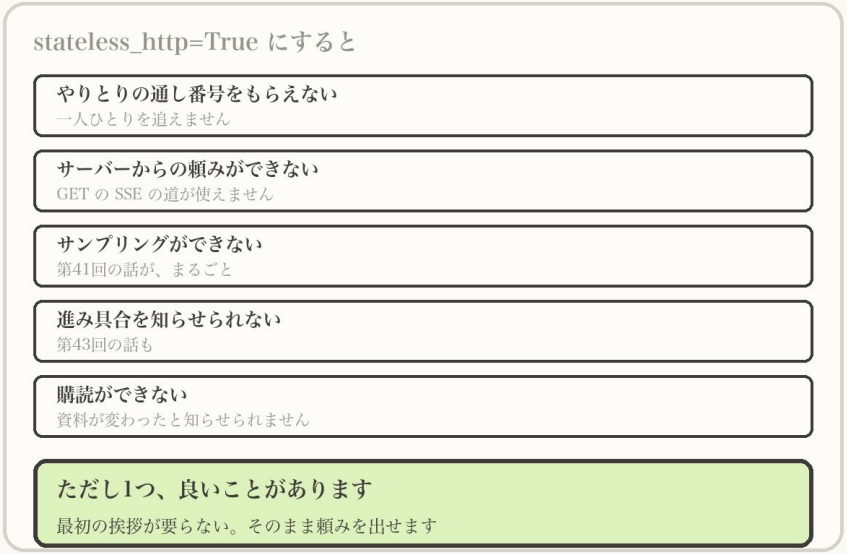
この2つが、別のサーバーに振られることがあります

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/state-and-the-streamablehttp-transport ／ 非公式の日本

② 状態を持たないことで、解く

原石工房

原題 How Stateless HTTP Solves This



調整の困りごとは消える。代わりに失うもの

調整の困りごとは消えますが、引き換えがあります

サンプリングも、進み具合も、購読も使えなくなります

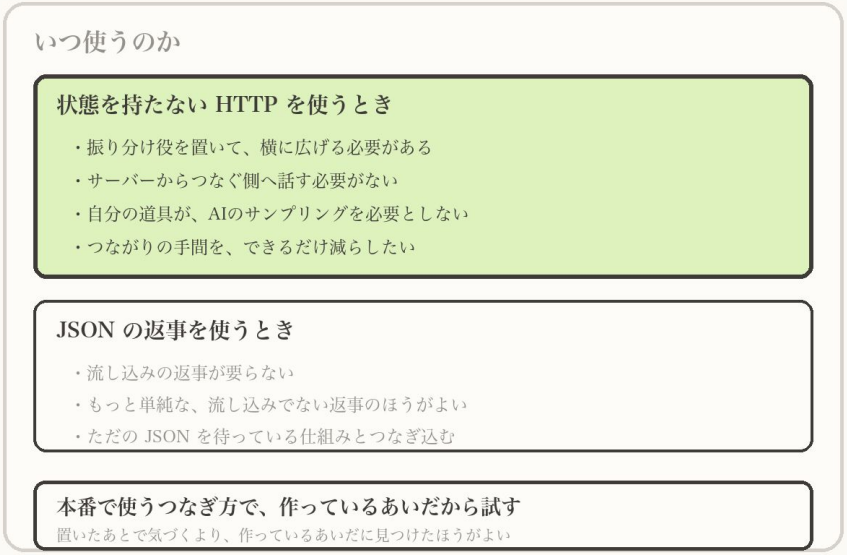
ただし1つ、最初の挨拶が要らなくなります

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/state-and-the-streamablehttp-transport ／ 非公式の日本

③ いつ使うのか

原石工房

原題 When to Use These Flags



大きくし方と、必要な働きに合わせて選ぶ

横に広げる必要があり、サーバーから話す必要がないとき

json_response は、流し込みをやめて結果だけ返します

本番で使うつなぎ方で、作っているあいだから試します

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/state-and-the-streamablehttp-transport ／ 非公式の日本

※ 補足　11回が、ここで1本につながります

原石工房

このコースは、ずっと同じ1つのことを話していました

第41・42回	サンプリング	サーバーから「AIを呼んで」と頼む
第43・44回	記録と進み具合	サーバーから途中経過を送る
第45・46回	触っていい場所	サーバーから「場所をください」と頼む
第47回	やりとりの形式	両方向である、とはっきり言う
第48回	標準入出力	両方向が、そのままできる
第49・50回	HTTP	そのままではできない。SSE でかわす
第51回	**状態の持ち方**	かわすのをやめると、何を失うか

芯は1つ。「サーバーからも話しかけられる」を、どう保つか

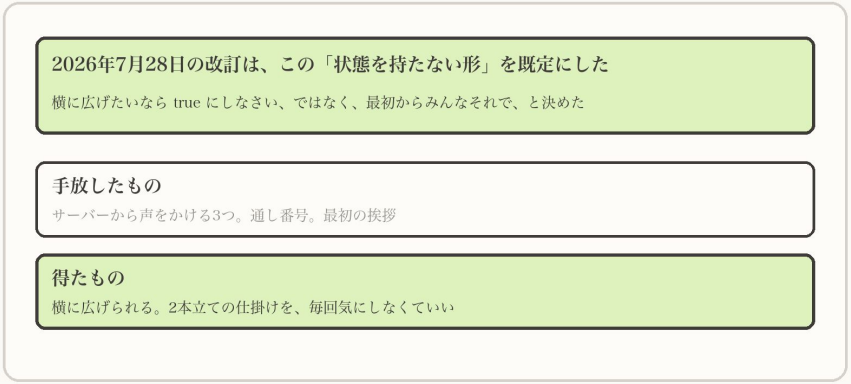
11回が、ここで1本につながる

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/state-and-the-streamablehttp-transport ／ 非公式の日本

※ 補足　改訂が、何をしたのか

原石工房

ここから先は原文にありません



順番に読んだ人だけが、その意味を分かります

改訂は、この「状態を持たない形」を既定にしました

手放したのは、サーバーから声をかける3つと、通し番号と挨拶

順番に読んだ人だけが、その意味を分かります

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/state-and-the-streamablehttp-transport ／ 非公式の日本

※ 補足　51回を終えて

原石工房

6つのコース、51のレッスン。1日1回、飛ばさずに読みました

毎日使っていたのに説明できないものが、いくつもありました

いま読んでいるものがいつの時点のものか。確かめる癖が残りました

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/state-and-the-streamablehttp-transport ／ 非公式の日本

今回のまとめ

原石工房

横に広げたいなら、状態を持たない形にする

その代わり、サーバーから話しかける働きが使えなくなります

これで、全51回が終わりです

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/state-and-the-streamablehttp-transport ／ 非公式の日本

長いあいだ、ありがとうございました



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く